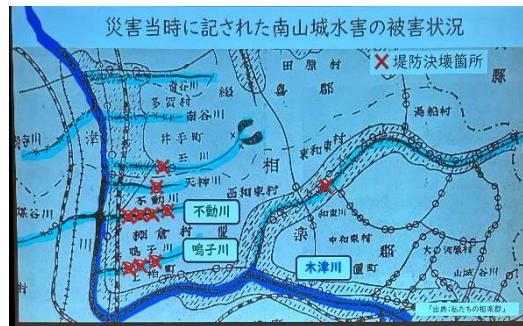


—地元の高校生たちと学ぶ—南山城水害に参加して

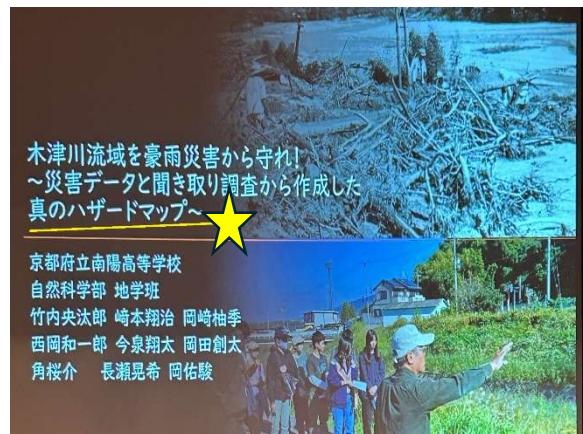
木津川上流部（特に三重県伊賀市周辺など）の山地は、主として花崗岩や泥質岩で構成されており、花崗岩は風化しやすい特性を持っています。この花崗岩が風化して多量の土砂が流出し、河床上昇（天井川）を引き起こす要因となっています。

～地元の高校生たちが学ぶ～南山城水害	
～本日のタイムテーブル～	
・主催者挨拶	(10:00～10:05)
・南山城水害について	(10:05～10:15)
・南陽高等学校自然科学部研究紹介	(10:15～10:40)
・休憩(写真展示・ポスター発表)	(10:40～11:05)
・MBS気象予報士 前田智宏氏 ご講演	(11:05～12:00)

南山城水害は停滞前線の影響で大量の雨が降ったうえ崩れやすい山々のため土砂災害が多発し、特に降雨量の多い上流地域から流れている山城地域の天井川において決壊が多発して甚大な被害をおこしました。



天井川が決壊することに対する認識があまりなかったことを痛感したしだいです。私達の住む地域においても井関川、鹿川の天井川があり、ハザードマップに反映させてはいるか再検証する必要があると感じました。



2026.2.9